

原発危険度ランキング(第2版)について

- 1 ドイツのように「危険なものから順番に廃炉にしていく」という道筋に向けた議論を深める「たたき台」として、このランキングを考案した。
- 2 専門家や、専門的知見を持つNPO(原子力資料情報室)、原子力安全・保安院等からの情報提供に基づき評価を行った。
- 3 全50基を対象に、1)原子炉、2)地盤等、3)社会環境面の3分野9項目を評価。項目ごとにポイントを配分し総合点(満点:15.5点)でランキングをつけた。
- 4 防潮堤の高さ、免震棟の有無やバックアップ電源の状況、オフサイトセンターの機能性、避難経路の確保、並行連鎖原災のリスク、行政処分の対象になっていない事業者の問題(やらせ問題等)をはじめ、ほかにも考慮すべき要素は多い。また、さらに詳細な活断層のデータ等が出てくれば、その都度改訂する必要がある。
- 5 全50基中、危険度ランキングの対象は22基。活断層の上にある可能性が高く危険な原発、東日本大震災や中越地震等で被災した原発は即時廃炉が望ましいと考え別表とした。
- 6 この危険度ランキングで下位だから安全という意味ではなく、この評価手法が完璧だとは考えていない。今後ともより良いものにするために努力していきたい。
- 7 第2版では、原子力安全・保安院の「敷地内破砕帯の評価」に関する対応方針(8/30)に基づき、追加地質調査要とされた原発に0.5Pを付加し、直下に活断層のある可能性大と判断した4基を即時廃炉対象に追加した。

2012年9月6日
原発ゼロの会

危険度総合ランキング(22基対象)

順位	原子炉	事業者	総合ポイント	注記
1	大飯1	関西電力	11.25	活断層再調査中
	大飯2	関西電力	11.25	活断層再調査中
3	島根1	中国電力	9.30	
4	高浜1	関西電力	9.05	
	島根2	中国電力	9.05	
6	高浜2	関西電力	8.55	
7	高浜3	関西電力	6.40	
	高浜4	関西電力	6.40	
9	大飯3	関西電力	6.35	活断層再調査中
	大飯4	関西電力	6.35	活断層再調査中
11	泊3	北海道電力	5.75	
12	伊方1	四国電力	5.60	
13	泊1	北海道電力	5.55	
14	玄海1	九州電力	5.25	
15	泊2	北海道電力	5.20	
16	伊方3	四国電力	4.20	
17	川内1	九州電力	3.90	
18	川内2	九州電力	3.70	
19	伊方2	四国電力	3.45	
	玄海2	九州電力	3.45	
21	玄海3	九州電力	2.85	
22	玄海4	九州電力	2.75	

即時廃炉にすべきと考えるもの(28基)

原子炉	事業者	総合ポイント	理由
敦賀1	日本原電	12.50	直下活断層可能性
美浜2	関西電力	10.95	ECCS作動(91年)/直下活断層可能性
美浜1	関西電力	10.85	直下活断層可能性
美浜3	関西電力	9.95	直下活断層可能性
柏崎刈羽4	東京電力	9.8	被災(中越沖地震)
浜岡4	中部電力	9.7	要請停止中(東海地震震源域)
浜岡3	中部電力	9.45	要請停止中(東海地震震源域)
浜岡5	中部電力	9.45	要請停止中(東海地震震源域)
柏崎刈羽2	東京電力	9.45	被災(中越沖地震)
柏崎刈羽3	東京電力	9.20	被災(中越沖地震)
敦賀2	日本原電	8.75	直下活断層可能性
柏崎刈羽6	東京電力	8.60	被災(中越沖地震)
柏崎刈羽1	東京電力	8.55	被災(中越沖地震)
柏崎刈羽5	東京電力	8.45	被災(中越沖地震)
柏崎刈羽7	東京電力	8.20	被災(中越沖地震)
志賀1	北陸電力	8.20	直下活断層可能性
女川1	東北電力	7.65	被災(東日本大震災)
福島1-5	東京電力	7.50	被災(東日本大震災)
志賀2	北陸電力	7.35	直下活断層可能性
女川2	東北電力	7.00	被災(東日本大震災)
東海第2	日本原電	7.00	被災(東日本大震災)
福島1-6	東京電力	6.90	被災(東日本大震災)
福島2-1	東京電力	6.45	被災(東日本大震災)
東通1	東北電力	6.25	被災(東日本大震災)/直下活断層可能性
福島2-2	東京電力	6.05	被災(東日本大震災)
福島2-3	東京電力	6.05	被災(東日本大震災)
福島2-4	東京電力	6.05	被災(東日本大震災)
女川3	東北電力	5.95	被災(東日本大震災)

主に地盤に問題があるもの →

被災したのもの →

